



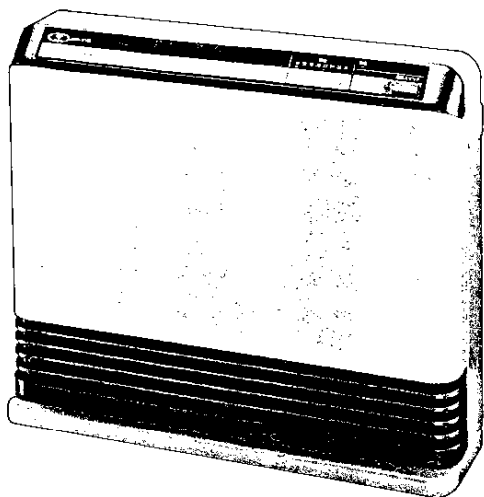
ガスファンヒーター

取扱説明書 43-718・981・983・985 型 987・989

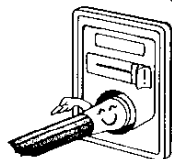
保証書付

型式名

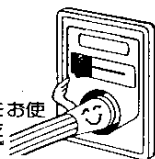
GS-21B



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具をお使
いになった
あとは必ず
ガス元栓も
閉める習慣を



換気必要
30分に1回
1分間程度



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーター
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

も く じ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	3
●器具の設置	7
●使用手順	8
●使用時のご注意	11
(安全装置が作動したときの処置方法)	
●日常の点検・手入れ	13
●故障・異常の見分け方と処置方法	15
●長期間使用しない場合	16
●アフターサービスのお申し込み	17
●特長	18
●寸法図と仕様一覧表	19

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（FF式）では
ありませんので換気が必要です。

以後のページ参考として、このページは開いてお使いいただくと便利です。



各部の名称

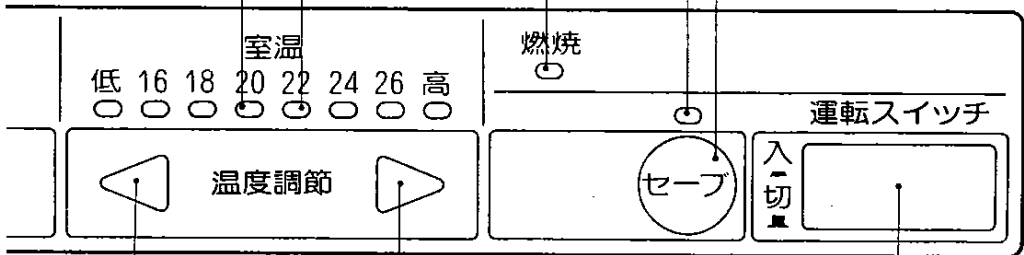
〈操作部〉

室温ランプ
(点滅)(赤)
現在の室温のめ
やすです。

設定室温ランプ(点灯)(赤)
温度調節スイッチで、お好み
の室温に調節してください。

燃焼ランプ(赤)
燃焼している
ときに点灯します。

セーブスイッチ
ランプ(緑)
セーブ運転は省エネに
役立ちます。



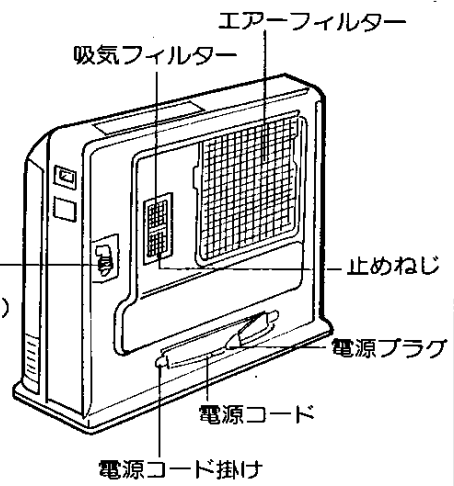
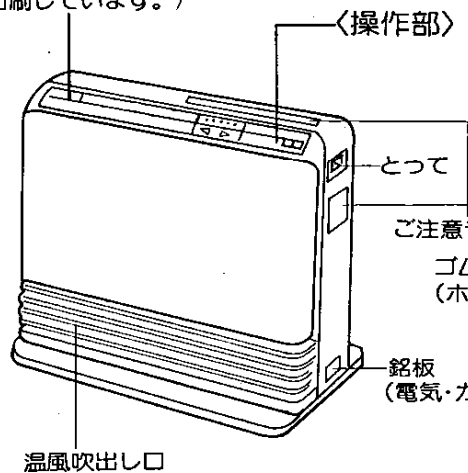
温度調節スイッチ
室温を調節するス
イッチです。

運 転
ス イ ッ チ
ご使用になるとき
「入」にしてください。

〈正面〉

〈裏面〉

(品番はここに
印刷しています。)

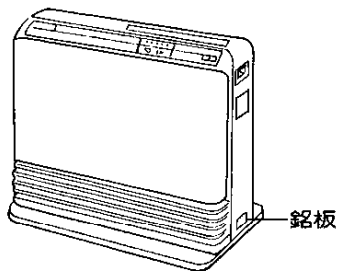


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガス・使用電源についてのご注意

- 器具本体（銘板）に表示してあるガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。



- 器具本体（銘板）に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。

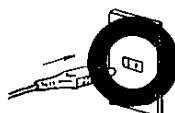
（例）43-718

【ガスの確認】

定CHP		定格消費電力	
定格電圧100V	定格消費電力	28/29W	
定格周波数50/60Hz			
ガストープ			
型式名 GB-21B (都市ガス用)			
ガス区分	13A		
ガス消費量 (kcal/h)	2100		
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社			

【電源の確認】

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具は交流100V・50/60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。
- 転居されたときにも、ガスの種類、電源周波数の一致を必ず確かめてください。部品の交換や調整が必要となる場合があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。



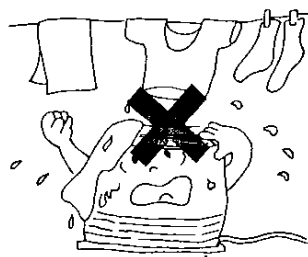
100V



200V高圧

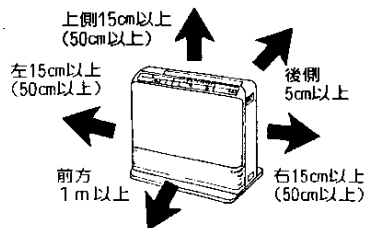
用途についてのご注意

- 暖房以外の用途（衣類の乾燥など）には使用しないでください。
衣類などが落下して器具に触れますと、火災になる危険があります。
- 衣類などを器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。
衣類などが温風吹出し口やエアフィルターをふさぎ器具内に熱がこもり、大変危険です。



使用場所についてのご注意

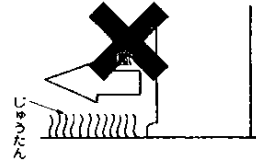
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶん離してください。（右図参照）不完全燃焼や、火災の危険があります。
後の壁から5cm、上方の壁または横の壁のうちいずれか一方は50cm、あとは15cm、前方は1m以内に家具、建具などの障害物のない位置を選んでください。



特に注意していただきたいこと②

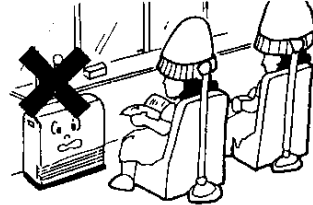
- 毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いて水平にしてください。

温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。



- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。

器具の故障や、腐食性ガスの発生により鏡・ガラスなどを傷める原因になります。



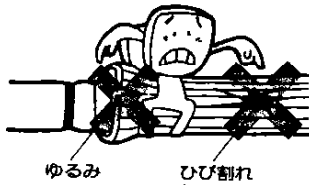
- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で消えることがあります。換気するときにも、強い風があたらないようにご注意ください。



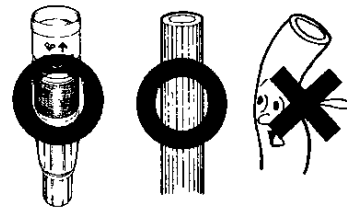
使用上のご注意

ガス漏れ防止

- ゴム管は内径9.5mmのガス用ゴム管または、ガスコード（13A専用）を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。



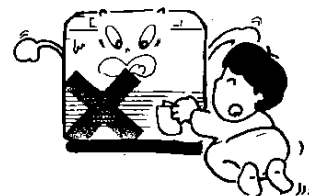
ガスコード ガス用ゴム管 ビニル用
(スリムプラグ付)



(13A専用)

火災予防

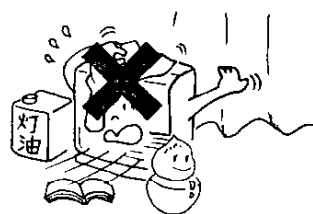
- 紙・布・異物などを温風吹出し口やエアフィルターの中に入れてたり、ふさいだりしないでください。火災や、器具の異常過熱の危険があります。



特に注意していただきたいこと③

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。またカーテンや衣類などを温風吹出し口に近づけないでください。

異常過熱や火災の危険があります。

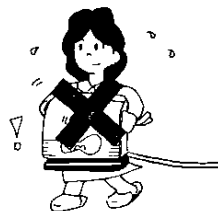


- ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。

炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。

- 火をつけたまま、持ち運ばないでください。

ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。



- 火をつけたまま、外出・就寝は絶対にしないでください。

やけどのご注意

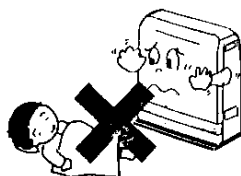
- ご使用中および使用直後は、温風吹出し口とその周辺およびエアフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。

特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意をしておいてください。

低い温度でも長時間温風にあたりますとやけどの危険があります。



- 小さなお子様が勝手に運転操作をしないようご注意ください。

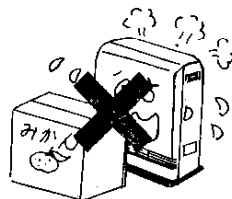
- 器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。やけどや器具が変形するおそれがあります。



過熱防止

- 温風吹出し口の前に物を置いたり、器具の後面(エアフィルター部および吸気フィルター部)をふさいだりしないでください。

異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があたたまらないこともあります。



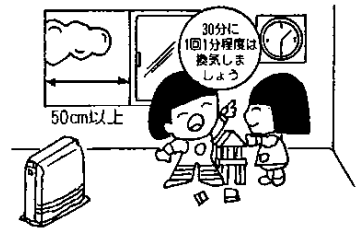
特に注意していただきたいこと④

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

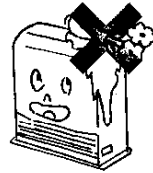
換気のご注意

- 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
この器具は強制給排気式（FF式）ではありませんので換気が必要です。



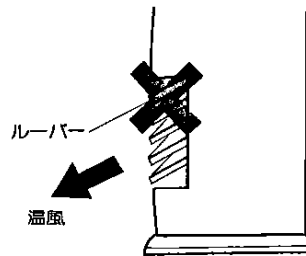
水ぬれのご注意

- 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
器具内に水が入ると、故障の原因となり漏電・火災の危険があります。



温風吹出し口のご注意

- 温風吹出し口のルーバーの角度を故意に変えないでください。床（カーペット等）が変色したり、器具の故障の原因となります。
掃除の時は特にご注意ください。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ（運転スイッチを切り、ガス元栓を閉める）十分な点検をお願いします。
（**故障・異常の見分け方と処置方法** については15～16ページをお読みください。）

日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは必ず行なってください。
（詳しくは13～14ページをお読みください。）
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

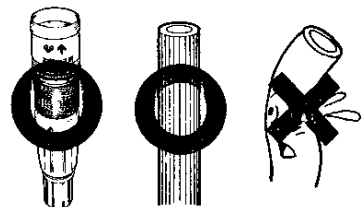
使用場所についてのご注意

- ご使用になる場合は、3~4ページの「使用場所についてのご注意」をお読みください。

ガスの接続

- ゴム管は内径9.5mmのガス用ゴム管または、ガスコードを使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く危険です。

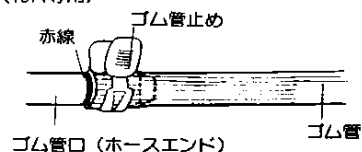
ガスコード ガス用ゴム管 ビニル管
(スリムプラグ付)



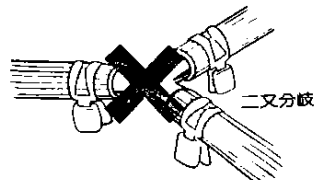
(13A専用)

- ガスコード(強化型小口径ガスホース)は13A器具のみ使用可能です。

- ゴム管はゴム管口(ホースエンド)の赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。短め(3m以内)で使用し、折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようしてください。また、器具の下を通したり、器具に触れたりしないようしてください。

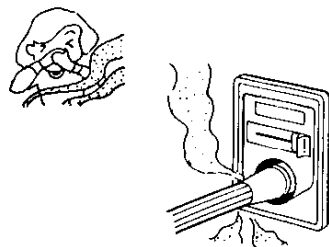


- ゴム管の継ぎたしや、二又分岐は行なわないでください。



- ゴム管は他のお部屋から使用するお部屋まで延長したり、壁、天井などを通したりしないでください。

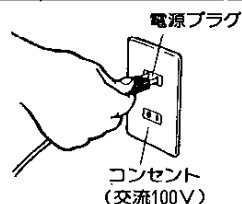
- ゴム管は良質のものを買い、使用3年位を目安にとりかえてください。ゴム管が古くなりますと、ガス元栓や器具のゴム管口(ホースエンド)から抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。



- ゴム管の器具接続やガス元栓接続に「カチット」を接続すれば接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。

電源の接続

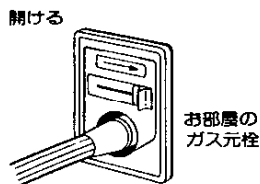
運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



使用手順

点火前の準備と確認

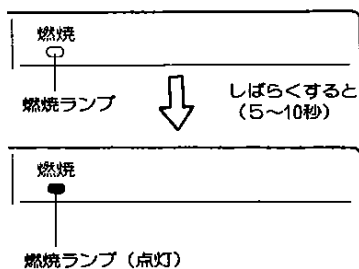
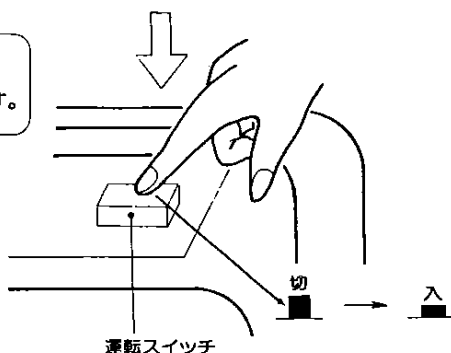
- 運転スイッチが「切」の位置にあることを確認したのち、お部屋のガス元栓を全開にしてください。




点 火

運転スイッチを「入」にしてください。
「5～10秒」で点火し、「燃焼ランプ」が点灯します。

- 運転スイッチを「入」にし燃焼すると、「燃焼ランプ」
● が、点灯し温風吹出し口から風が出ます。



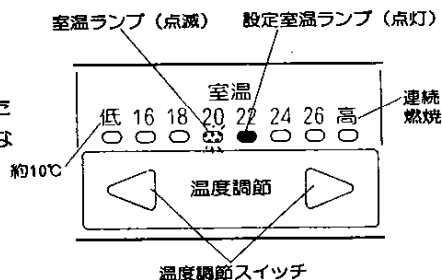
- はじめて使用するときや、しばらく使わなかったときは、ガス配管内に空気が入って点火しにくいことがあります。このときは、「燃焼ランプ」が点滅しますので、2～3回運転操作をくり返してください。
- 点火後、1分程度は、室温にかかわらず強燃焼します。

使用手順②

温度調節

一度セットした設定室温は、マイコンが記憶しています。

ただし、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した時は設定室温は解除され、再通电後は自動的に「22」となります。



- 設定された室温は設定室温ランプが点灯して表示します。
温度調節スイッチ「◀ (さげる)、▶ (あげる)」を押し、お好みの室温に設定してください。
ルームサーモ (室温調節器) の働きにより、「強燃焼」、「弱燃焼」、の切り替えで自動的に室温をほぼ一定に保ちます。

- お部屋の構造、設置場所、外気温などによっては「低」の位置でも温度が上がっていくことがあります。
このときは、10ページの **消火** の順序で消火してください。

- 室温は、室温ランプが点滅して、お知らせします。
器具の設置条件 (すきま風、直射日光など) によって室温ランプと室温が多少ずれることがあります。

<ご注意>

- 消火後の再点火時に室温ランプが一時的に高く表示されたのち、もとに戻ることがありますが、故障ではありません。
- 設定温度と室温が一致した場合、ランプは連続点灯します。

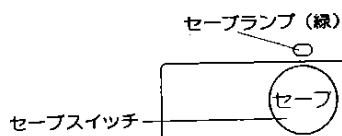
セーブ運転

セーブ運転とは自動的に少しずつ室温を下げる運転で省エネに役立ちます。
(設定室温までお部屋があたたまった後、2℃ (30分に1℃ずつ))
設定温度を下げます。この時設定室温ランプは変化しません。

セーブ運転解除は「セーブ」スイッチを押してください。セーブランプが消えます。

<ご注意>

- 設定温度が「高」の場合は、セーブ運転は働きません。
- 「セーブ」スイッチを押されても最初に設定された設定室温ランプの位置は変わりません。



使用手順③

消 火

運転スイッチを「切」にしてください。
消火し、「燃烧ランプ」が消えます。

- 運転スイッチを「切」にしても、しばらくの間、温風吹出し口から風が出続けます。これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。この間は電源プラグを抜かないでください。器具の故障の原因となります。
- 燃焼中、運転スイッチを「入」にしたままで、お部屋のガス元栓の操作による消火はしないでください。

燃焼中、もしくは消火後すぐに電源プラグを引き抜かないでください。また他のお部屋への移動は、運転スイッチを「切」にして温風吹出し口から風がでなくなった後、電源プラグを抜いて行なってください。途中で電源プラグを抜きますと、安全装置が働いて器具がしばらくの間使用できなくなることがあります。この場合はしばらくおいてから点火操作を行なってください。器具の故障ではありません。

- ご使用後は、必ずお部屋のガス元栓を閉めてください。

<ご注意>

● 消火後の再点火

消火後再び運転される場合は、消火後、すぐには運転操作をしても点火しない場合があります。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。再点火時に「ポツ」と音がすることがありますが、異常ではありません。

- 再点火時に室温が一時的に高く表示される場合がありますが異常ではありません。

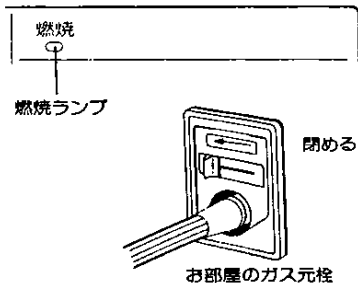
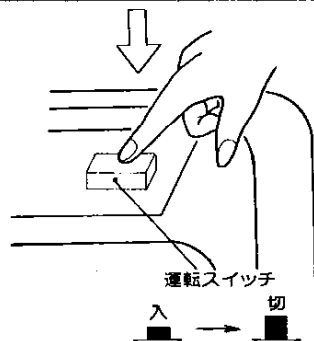
- 点火したあとやルームサーモ（室温調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

停電時の処置

- 停電になったときは、運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉じておいてください。
- 再使用されるときは、ガス元栓を全開にし、8ページの「点火」の順序で操作を行なってください。

<ご注意>


使用中停電になったときは、対流用ファンが止まるため、器具上部およびエアフィルター部が過熱しますので、器具上部やエアフィルター部にふれないでください。



使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

このファンヒーター

安全装置	働 き	安全装置作動時の表示	
		燃焼ランプ	室温ランプ
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に燃焼を停止します。	 点滅	低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
立消え安全装置	バーナの炎が風などで消えたときや、ガスの供給が止まったときに働きます。		低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
不点火時ガス遮断装置	運転スイッチを「入」にしたあと、しばらくしても点火しない場合、生ガスの放出を防止します。		低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
転倒時ガス遮断装置	器具が転倒したり、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。		低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
過熱防止装置 (バイメタルスイッチ)	エアフィルターや吸気フィルターが目づまりしたり、温風吹出し口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火します。		低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
過熱防止装置 (温度ヒューズ)	万一異常過熱したときに、温度ヒューズが切れて消火します。	○ 消灯	低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 点滅
逆火時安全装置	使用中にバーナの炎が逆火した場合に温度ヒューズが切れて消火します。		低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 消灯
電流ヒューズ	ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、運転を停止します。		(停電) ○ 消灯 (再通電) 点滅
ファンコントローラー (送風制御装置)	運転スイッチを「切」にしたあととも器具を冷却するまでファンを回転させる。	(停電) ○ 消灯 (再通電) 点滅	(停電) 消灯 低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ (再通電) 点滅 低 16 18 20 22 24 26 高 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
停電安全装置	停電したとき安全装置が作動し、運転を停止します。停電後再通電されても自動的に再点火しません。		(再通電) 点滅

には、モニターランプによるお知らせ機能がついています。

原因	処置方法
<p>ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアークリナーや吸気フィルターが詰まっても同様です。</p>	<p>十分部屋の換気を行ないエアークリナー及び吸気フィルターの掃除をおこなった後再点火してください。</p>
<p>ゴム管を踏んだり、ガス元栓が開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどに作動します。</p>	<p>点検後、再点火してください。</p>
<p>ガス栓が開きたりなかった。 ガスの種類が違う。 ガスホース内に空気が入っていた。</p>	<p>点検後、再点火してください。</p>
<p>点火したまま、器具を持ち運んだり、器具に衝撃を加えた場合、また転倒した場合に作動します。</p>	<p>いったん運転スイッチを「切」にし再点火してください。</p>
<p>エアークリナーや吸気フィルターが目づまりしている。 温風吹出し口に障害物がある。</p>	<p>エアークリナー及び吸気フィルターの掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく（5~6分）してから再点火してください。（電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。）</p>
<p>異常過熱状態になった。</p>	
<p>バーナに異常が起きた。</p>	<p>器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。</p>
<p>電気回路がショートした。</p>	
<p>_____</p>	<p>器具を消火する時働く安全装置です。処置する必要はありません。</p>
<p>停電した。</p>	<p>停電中は必ず運転スイッチを「切」にし、ガス元栓を閉じておいてください。 10ページの「停電時の処置」をお読みください。</p>

<ご注意> 安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

日常の点検・手入れ

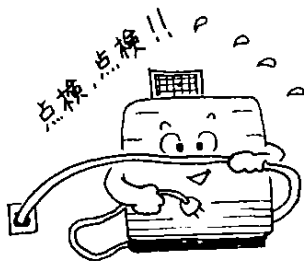
点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションに依頼してください。
- 点検・お手入れは運転スイッチを「切」にし、お部屋のガス元栓を閉め、必ず電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
- 点検で異常を見つけれたら、15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を参照してください。
- 器具内部(安全装置、電気部品およびガスの通路部分)は絶対に分解しないでください。



点 検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元栓ともゴム管口（ホースエンド）の赤線まで十分差し込んでいますか。
- 器具のまわりや温風吹き出し口の付近に燃えやすいものはありませんか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の下や、エアフィルター・温風吹き出し口・吸気フィルターなどに、ほこりなどがたまっていませんか。

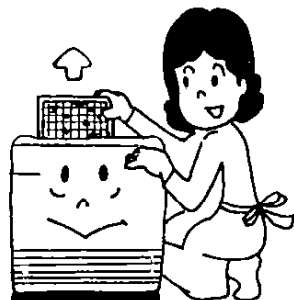


お手入れ

エアフィルターのお手入れ

1週間に1回以上は、次の手順で必ず掃除してください。
ほこりなどがたまると風量が減って暖房効果が悪くなるばかりか異常過熱の原因となって運転が自動的に停止することがあります。

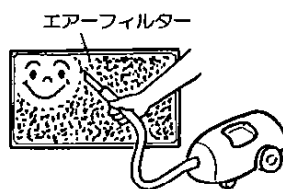
- ①エアフィルターは器具の背面にあり、上方にスライドして引き抜いてください。



日常の点検・手入れ②

②エアークフィルターの表・裏のほこりを電気掃除機などでよく掃除してください。

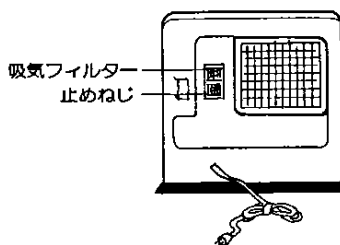
油などで特に汚れた場合は、洗剤で手早く洗い、水気をよくはらってから十分に乾燥させてください。掃除が終わりましたら、「きちん」とさし込んでください。



吸気フィルターのお手入れ

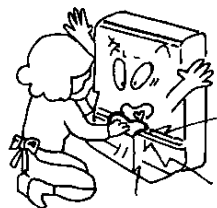
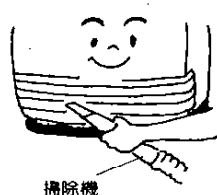
吸気フィルターは止めねじを外すと簡単に外れます。エアークフィルターと同じ要領で掃除してください。

- 1週間に1回以上はエアークフィルターと同様に、吸気フィルターのほこりなどを電気掃除機などで、よく掃除してください。吸気フィルターにほこりなどが多量に付着すると、ルームサーモや室温ランプが正確に働かないことがあります。



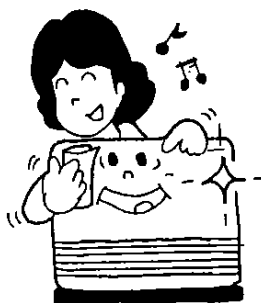
温風吹出し口のお手入れ

- 1ヶ月に1回以上は、温風吹出し口のほこりを電気掃除機などで掃除してください。この場合、必ず対流用ファンが止まってから行なってください。
- 温風吹出し口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。
- 温風吹出し口を強くふきますと、吹出し口のルーバーが曲がり、温風によって床（カーペット等）が変色することがありますのでご注意ください。



器具外装のお手入れ

- 本体ケースや、温風吹出し口などが、ほこりなどで汚れたときは布などでふき取ってください。
- 化学ぞうきんやベンジンやシンナーなどでふかないでください。塗装がハゲたり、色があせたりします。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因	現象						処置方法	参照ページ
	室温ランプが点灯しない(赤色)	スパーク音がしない	点火しにくい(燃焼ランプが点灯しない)(赤色)	ガスのおいがする	使用中に消火する	異常な音をたてる(消えてしまふ)		
電源プラグを差し込んでない	●	●	●				電源プラグを確実に差し込む	7
ガス元栓の開き忘れ・開き不十分			●	●	●	●	ガス元栓を全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている			●	●			運転操作をくり返してください	8
ゴム管の接続が不完全				●	●		確実に接続する	7
ガスの種類が違う			●	●	●	●	本体右側面の銘板を確認してください	3
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			●	●	●	●	不具合を除き再点火してください	7
ゴム管のびび割れ・穴あき				●	●		ゴム管を交換・先を切りつめる	4・7
換気が不十分である					●		30分に1回1分程度換気をする	6
フィルターがつまっている 温風吹出し口に障害物がある			●	●	●	●	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください	13・14
点火(燃焼を開始)したばかりである				●			点火時、少しにおうことがあります	-
スパーク装置の故障(コード外れなど)		●	●				点検修理を依頼する	-
安全装置が作動した	●	●	●		●	●	点検修理を依頼する	11・12

● 処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

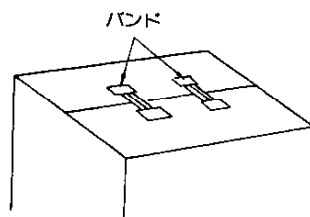
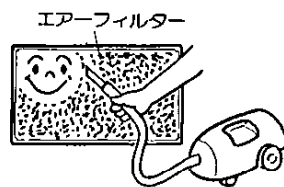
次のような場合は故障ではありません

現 象	説 明
はじめて使うときに、器具から煙やおいが出る。	はじめてお使いになるとき、器具に付着した油がこげて、煙やおいが出る場合があります。しばらくすると自然になくなります。
着火したときに「ポツ」という音がする。	着火音で、異常ではありません。
点火・消火直後に「チリ、チリ」と1分間ほど音がする。	バーナが熱により、膨張・収縮するときの音ですから故障ではありません。
使用中に「シャー」と音がする。	これはガスの通過音で、異常ではありません。
運転スイッチを「切」にしても、しばらく温風吹出し口より風が出ている。	器具内の異常過熱を防止するために燃焼停止後、対流用ファンをしばらく運転しています。これは器具内の温度が低くなるまで風で冷却しているためです。

長期間使用しない場合

おしまいになるときは、次の要領で手入れをしてください。

- 電源プラグをコンセントより抜いてください。
- お部屋のガス元栓を閉め、ガス用ゴム管やガスコードをお部屋のガス元栓よりはずし、お部屋のガス元栓にキャップをしてください。
- 特にガス通路部分に、ほこりが入って通路を詰らせないように器具のゴム管口（ホースエンド）には、必ずキャップをしてください。
- 温風吹出し口と、エアフィルターや吸気フィルターのほこりを取り除いてください。
- お求めになったときの箱の中に正しく入れ、湿気の少ないところへ保管してください。保管場所は高温になる所や直射日光が当たる所はさけてください。
(しまいは、箱の上面の折り返し部に表示してあります。)
- なお、こん包の際は付属のバンドを右記の要領で使用してください。



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1)品 名…………… (ファンヒーター)
(2)品 番…………… 左側面下部に貼付してあります。
(例)

(N)43-718(U)

大阪ガス株式会社 08

- (3)現 象…………… (できるだけ詳しく)
(4)お 名 前
(5)ご 住 所
(6)電話番号
(7)道 順…………… (できるだけ詳しく)

点検整備のおすすめ

- 安全快適に、ご使用頂くために定期的に（3シーズンに1回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。
- 点検整備は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにお申し付けください。

点検整備の内容は、機能部品の点検・確認及び清掃整備です。
この場合は有料となります。

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区別があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

アフターサービスのお申し込み②

保証書について

- この器具には保証書がついています。

このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

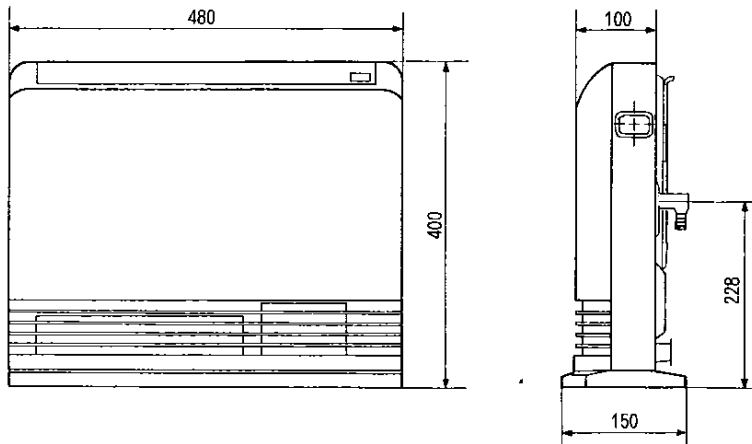
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1** 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。
- 2** ルームサーモ(室温調節器)の働きにより室温変化に応じて、燃焼量と風量を自動的にコントロールし、快適な暖房が得られます。
- 3** 暖房の立ち上がりが早く、温風下向き吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(室温調節器)を備えたファンヒーターです。
- 4** プッシュスイッチ式のため、操作が簡単です。
- 5** 換気不足や、フィルターほこりづまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。
- 6** スマートでコンパクトなデザインです。
- 7** セーブ運転機能付きですので、維持費の低下がはかれます。

寸法図と仕様一覧表

寸法図



(単位mm)

仕様一覧表

機 種		43-718・981・983・985・987・989型			
		GS-21B			
項 目		都市ガス 6C	都市ガス 6A	都市ガス 13A	LPガス
ガス消費量(Kcal/h)		2100	2100	2100	0.175kg/h
暖房のめやす		6~9畳(10~15㎡)			
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)		400×480×100(脚部分150)			
重 量 (kg)		8.3			
電 気 消 費 量 (W)		28/29 (運転スイッチ「切」のとき: 約5W)			
接 続	ガ	φ9.5mmガス用ゴム管			
	電 源	交流100V・50/60Hz (電源コード長さ2m)			
燃 焼 方 式		ブンゼン燃焼式			
給 排 気 方 式		開 放 式			
放 熱 方 式		強 制 対 流 式			
点 火 方 式		交流電源連続放電点火式			
安 全 装 置		<ul style="list-style-type: none"> ○不完全燃焼防止装置 ○立消え安全装置 ○不点火時ガス遮断装置 ○転倒時ガス遮断装置 ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ) ○過熱防止装置(温度ヒューズ) ○逆火時安全装置 ○電流ヒューズ ○ファンコントローラー ○停電安全装置 			

おねがい

ガスくさいときは、お部屋のガス元栓を閉め、窓を全開にしてから
(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡
ください。

メモ欄

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市東区平野町5丁目1番1号 ☎大阪 06 (202)2221

南支社 ☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 ☎大阪 06 (652)0001

北支社 ☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号 ☎大阪 06 (301)1251

堺支社 ☎590 堺市住吉横町2丁目2番19号 ☎堺 0722(38)1131

北摂支社 ☎569 高槻市藤の里町3番6号 ☎高槻 0726(71)0361

阪神支社 ☎662 西宮市和上町4番11号 ☎西宮 0798(26)3101

東部支社 ☎578 東大阪市相葉2丁目3番17号 ☎河内 0729(62)1131

京阪支社 ☎573 枚方市西田宮町1番17号 ☎枚方 0720(41)1251

神戸支社 ☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 ☎神戸 078(576)5231

京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都 075(231)8151

奈良支社 ☎631 奈良市学園北2丁目4番1号 ☎奈良 0742(44)1111

和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1丁目1-1 ☎和歌山 0734(31)2481

姫路支社 ☎670 姫路市神屋町4丁目8 ☎姫路 0792(85)2221

東播支社 ☎675 加古川市加古川町粟津2-9-1 ☎加古川 0794(21)1801

豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地 ☎豊岡 07962(3)2221

湖南支社 ☎525 草津市追分町字荒畑680の1 ☎草津 0775(62)5311

彦根支社 ☎522 彦根市大東町12番11号 ☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所)☎526 長浜市南呉服町3番4号 ☎長浜 0749(62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社